

- 問1 北海道北端の稚内付近における、夏季の日照時間と周辺の海流の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では5月から6月にかけて日照時間がピークを迎え、全体として夏季の日照時間が長くなる傾向があります。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 寒流である千島海流（親潮）の影響で夏季に大規模な濃霧が発生するため、高緯度であっても日照時間は極めて短くなる。 | 2. 季節風を遮る高い山脈の影響でフェーン現象が発生しやすく、暖流のリマン海流の影響で夏季は乾燥した晴天が続く。 | 3. 高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。 | 4. 低緯度に位置するため太陽の高度が常に高く、太平洋沿岸を北上する日本海流（黒潮）が湿った空気を運んでいる。 |
|--|--|--|---|
- 問2 札幌において、冬（12月～2月）の降水量が東京などの太平洋側の都市に比べて多くなる理由を、地理的な背景から説明したものとして正しいものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------|--|-------------------------------|
| 1. 暖流である対馬海流から蒸発した水蒸気が、北東の季節風によって運ばれるため。 | 2. 冬に湿った南東の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。 | 3. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した風が、太平洋上で水分を蓄えて戻ってくるため。 | 4. 冬に湿った北西の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。 |
|--|-------------------------------|--|-------------------------------|
- 問3 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。 | 2. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。 | 3. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。 | 4. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。 |
|---|---|--|---|
- 問4 北海道の北東部に位置する海域で見られる流氷は、冬季の重要な観光資源となっています。この地域における流氷観光の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 流氷の上を歩いて北方領土まで渡り、現地の歴史を学習するツアーに参加する。 | 2. 流氷を溶かして作った真水を大規模なパイプラインで本州へ送る施設を見学する。 | 3. 暖流に乗って流氷とともにやってくるカツオやマグロなどの大型魚を一本釣りで狙う。 | 4. 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。 |
|---|--|--|--|
- 問5 北海道は日本最大の米の栽培面積を誇りますが、各都道府県的全耕作面積に占める米の割合を示した統計では、東北地方の多くの県よりも低い数値となっています。このような数値が示される理由として、北海道の農業の特色を踏まえた適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 東北地方に比べて一戸あたりの経営面積が小さく、米の栽培に特化した効率的な農業が困難なため | 2. 冷涼な気候の影響で米の栽培が制限されており、米の生産量が日本で最も少ないため | 3. 大規模な土地利用は行われているものの、農地の大部分が住宅地や工業団地へ転用されているため | 4. 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため |
|---|---|---|---|
- 問6 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため | 2. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため | 3. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため | 4. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため |
|--|---|---|--|
- 問7 北海道の東部に位置し、その東側に国後島を望むことができる半島は、独自の生態系が維持されていることからユネスコの世界自然遺産に登録されています。この地域の説明として正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 知床半島では、流水がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。 | 2. 能登半島では、複雑な海岸線を利用した漁業と、伝統的な農法が一体となった世界自然遺産としての景観が維持されている。 | 3. 下北半島では、日本最北端の地として知られる岬があり、野生のニホンザルの生息地として世界自然遺産に登録されている。 | 4. 根室半島では、広大な釧路湿原とつながるラムサール条約登録地として、タンチョウの繁殖地を保護する取り組みが行われている。 |
|---|---|---|--|
- 問8 北海道で生産される生乳の統計において、生産量の半分以上が飲用ではなくバターやチーズの原料となる加工用として利用されている主な理由を選びなさい。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大規模な畑作と組み合わせた混合農業が盛んであり、生乳をそのまま出荷するよりも肥料として活用する割合が高いから。 | 2. 北海道の気候は夏に気温が上がらず、生乳の鮮度を保ったまま道外へ輸送することが技術的に不可能であるため。 | 3. 関東などの大消費地から遠いという地理的条件があり、鮮度が求められる飲用よりも保存の利く乳製品への加工が適しているため。 | 4. 地産地消の考えに基づき、北海道内で生産された生乳は道内での飲用分を除き、すべて加工品にしてから輸出する義務があるため。 |
|--|--|--|--|
- 問9 十勝平野で行われている、同じ土地に異なる種類の作物を数年周期で順番に栽培する「輪作」の目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 特定の病害虫の発生や土壌の栄養偏りによる連作障害を防ぐため | 2. 冷害による被害を最小限に抑えるため、収穫時期を極端に分散させるため | 3. 急傾斜地において土砂崩れを防ぎながら、効率よく肥料を吸収させるため | 4. 米の生産調整（減反政策）に伴い、水田を畑地に転換して活用するため |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問10 北海道の旭川市など、内陸部の都市の開発に関連した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|---|---|
| 1. 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた | 2. 戦後の高度経済成長期に、石炭採掘の拠点としてゼロから建設された | 3. アイヌの人々が古くから築いていた大規模な城郭都市を、明治政府が接収して発展させた | 4. 江戸時代に松前藩が交易の拠点として整備し、本州からの商人が集まって形成された |
|--|------------------------------------|---|---|
- 問11 北海道の道庁所在地である札幌周辺の地理的特徴と、地名の由来について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 十勝川の流域に広がる十勝平野に位置し、地名は江戸時代の松前藩の役職名に由来する。 | 2. 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。 | 3. 広大な泥炭地が広がる石狩平野の沿岸部に位置し、地名は本州から移り住んだ開拓使の言葉に由来する。 | 4. 大規模な火山灰地が広がる根釧台地に位置し、地名は明治時代に移り住んだ屯田兵の出身地に由来する。 |
|---|---|--|--|